

2026年2月26日

各位

桜美林中学校・高等学校
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

金融経済教育に係る連携協定の締結について

桜美林中学校・高等学校(校長 堂本 陽子)と三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 三菱UFJモルガン・スタンレー証券)は、2026年2月25日、次世代を担う子どもたちへの金融経済教育に関し、相互に連携、協力するための協定(以下 本協定)を締結したことをお知らせいたします。本協定は、金融経済に関する知識習得にとどまらず、よりよく生きていくことについて主体的に考える力を育成する探究学習の充実を図ることを目的としています。

桜美林中学校・高等学校は「学而事人」をスクールモットーとしており、「グローバルな活躍ができる人材」となるために知識の蓄積にとどまらず、表現力、論理的思考力を磨き、幅広く社会で活躍できる力を身につけることを重視した教育活動を展開しています。また、三菱UFJフィナンシャル・グループは金融経済教育を優先的に取り組む10課題のひとつとしてグループ一体にて推進しており、三菱UFJモルガン・スタンレー証券では次世代への金融経済教育を社会貢献活動の主軸とし探究学習を重視したプログラムを展開しています。双方の金融経済教育に対する姿勢や方針が合致し、このたび、本協定の締結に至りました。

【連携・協力の内容】

1. 人生100年時代を見据え、社会に開かれた教育課程を通して、新しい時代に必要となる資質や能力を育み、探究学習を通じて子どもたちに金融経済への関心を喚起する。ひいては、教科横断的かつ探究的な学びを行うことにより、子どもたち一人ひとりに「生きる力」を確実に育む。
2. 三菱UFJモルガン・スタンレー証券は桜美林中学校・高等学校に金融経済教育プログラムを提供するとともに、必要に応じて、役職員を派遣し、金融経済に係る指導・助言を行う。

桜美林中学校・高等学校と三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、今後も相互に協力しながら、次世代を担う子どもたちが将来に向かって進むチカラになるべく、金融リテラシーの向上と、「貯蓄から資産形成へ」を後押しする金融経済教育を通じて、社会に貢献してまいります。



締結式の様子

以上